

禁 転 載 複 製
当 日 配 付
試 験 終 了 後 公 開

平成 27 年度技能検定

2 級ガラス用フィルム施工学科試験問題

(建築フィルム作業)

1. 試験時間 1時間40分
2. 問題数 50題(A群25題、B群25題)
3. 注意事項
 - (1) 係員の指示があるまで、この表紙はあけないでください。
 - (2) 答案用紙には、級別、受検番号及び氏名を必ず記入してください。
 - (3) 係員の指示に従って、問題数を確かめてください。それらに異常がある場合は、黙って手を挙げてください。問題はA群(真偽法)とB群(多肢択一法)とに分かれています。
 - (4) 試験開始の合図で始めてください。
 - (5) 解答は、答案用紙の解答欄に記入することとし、解答の方法は次のとおりです。
 - イ A群の問題(真偽法)は、一つ一つの問題の内容が正しいか、誤っているかを判断し、正しいと思うものには「○」を、誤っていると思うものには「×」を記入してください。
 - ロ B群の問題(多肢択一法)は、正解と思うものを一つだけ選んで、「イ、ロ、ハ又はニ」の記号を記入してください。二つ以上記入した場合は誤答となります。
 - (6) 電子式卓上計算機その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
 - (7) 携帯電話等は、使用してはいけません。
 - (8) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問には答えられません。
 - (9) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
 - (10) 試験中に手洗いに立ちたいときは、黙って手を挙げて、係員の指示に従ってください。
 - (11) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。

[A 群(真偽法)]

- 1 赤外線は、人間の目で見ることができる。
- 2 日本工業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、日射調整フィルムの性能には、可視光線透過率が求められている。
- 3 日本工業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、ガラス貫通防止フィルムのガラスの貫通防止性能は、鋼球落下試験により区分されている。
- 4 日本工業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、ガラス飛散防止フィルムの粘着力は、2N/25mm幅以上である。
- 5 建築窓ガラス用フィルムの日射調整フィルムは、可視光線よりも紫外線を透過する。
- 6 建築窓ガラス用フィルムにおいて、基材フィルムに使用されているポリエステルフィルムは、2軸延伸法によって作られている。
- 7 建築窓ガラス用フィルムのハードコート層の目的は、紫外線を遮へいすることである。
- 8 建設用リフトの搬器には、原則として、作業員を乗せてはならない。
- 9 建設用リフトの運転は、特別教育を受講した者でなければ運転してはならない。
- 10 現場に搬入する建築窓ガラス用フィルムは、原則として、毎日持込み、持ち帰るようにするのがよい。
- 11 建築窓ガラスフィルム工事の段取りでは、フィルムの選定やガラスの採寸以外に、サッシの損傷についても事前に点検する必要がある。
- 12 建物の窓ガラスの清掃に使用するスクレーパーの刃は、鋼製である。
- 13 建築窓ガラスフィルム工事に使用する加圧式スプレーは、使用后、圧力を抜いておくのがよい。
- 14 建築窓ガラス用フィルムの保管は、雨に濡れなければ屋外でもよい。
- 15 建築窓ガラスフィルム工事において、重ね切り工法は、フィルム幅が窓ガラス寸法よりも大きい場合に用いられる。
- 16 建築窓ガラスフィルム工事において、重ね切り工法の重ね部の裁断は、カッターナイフによる一度切りとする。

[A 群(真偽法)]

- 17 強化ガラスに日射調整フィルムを貼る場合は、あらかじめ粗切り寸法に裁断したフィルムを使用する。
- 18 建築窓ガラスフィルム工事後は、傷や汚れを受けないように注意書きをフィルムの上に貼っておくとよい。
- 19 サッシとガラスの取り合いにおいて、面クリアランス、エッジクリアランスなどの寸法は、ガラスの種類、厚さなどを考慮しなくてもよい。
- 20 熱線反射ガラスとは、ガラスの片側の表面に熱線反射性の薄膜を形成したガラスをいう。
- 21 サッシの中^ま棧とは、サッシ内の上下のガラスなどを仕切る横部材をいう。
- 22 アルミニウム合金製サッシは、アルカリ性物質に対して耐食性が優れている。
- 23 日本工業規格(JIS)によれば、製図における寸法線には、太い実線を用いる。
- 24 建築基準法関係法令によれば、建築物には、建築設備は含まれない。
- 25 労働安全衛生法関係法令によれば、ゴンドラの作業床において作業を行うときは、安全帯その他の命綱を使用しなければならないと規定されている。

[B 群(多肢択一法)]

- 1 太陽光線の波長について、波長の短いものから長いものへと左から順に並べてあるものはどれか。
 - イ 可視光線、紫外線、赤外線
 - ロ 赤外線、可視光線、紫外線
 - ハ 紫外線、赤外線、可視光線
 - ニ 紫外線、可視光線、赤外線

- 2 建築窓ガラス用フィルムのポリエステルフィルムの一般的特性に関する記述として、適切なものはどれか。
 - イ アンモニア、強アルカリ性の薬品には侵されない。
 - ロ 耐熱性は、ポリ塩化ビニルと同等である。
 - ハ ポリ塩化ビニルに比べ、透明性、平滑性、光沢性が優れている。
 - ニ ポリ塩化ビニルに比べ、寸法安定性が悪い。

- 3 文中の()内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。

日本工業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、日射調整フィルムは、遮へい係数により()種類に区分されている。

 - イ 2
 - ロ 3
 - ハ 4
 - ニ 5

- 4 日本工業規格(JIS)の建築窓ガラス用フィルムによれば、ガラス飛散防止フィルムの性能として、規定されていないものはどれか。
 - イ 可視光線透過率
 - ロ 引張強さ
 - ハ 伸び
 - ニ 粘着力

- 5 窓ガラスの遮へい係数が0.8で、フィルムを貼り付けたら0.4になったときの日射熱取得率の変化割合として、適切なものはどれか。
 - イ 80%
 - ロ 50%
 - ハ 40%
 - ニ 32%

- 6 建築窓ガラス用フィルムの透明性に、最も影響の少ないものはどれか。
 - イ 基材フィルム
 - ロ 剥離フィルム
 - ハ ハードコート
 - ニ 粘着層

[B 群(多肢択一法)]

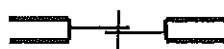
- 7 文中の()内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。
建築窓ガラス用フィルムのハードコートの厚さは、() μm である。
- イ 2～3
 - ロ 10～15
 - ハ 16～20
 - ニ 22～30
- 8 文中の()内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。
労働安全衛生法関係法令によれば、()m以上の高所から物体を投下するときは、適当な投下設備を設け、監視人を置く等労働者の危険を防止するための措置を講じなければならないと規定されている。
- イ 2.0
 - ロ 2.5
 - ハ 3.0
 - ニ 4.0
- 9 文中の()内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。
労働安全衛生法関係法令によれば、仮設通路において墜落の危険のある箇所に設ける手すりの高さは、()cm以上とする。
- イ 75
 - ロ 80
 - ハ 85
 - ニ 90
- 10 次のうち、建築窓ガラスフィルム工事の施工要領書に記載しなければならないものはどれか。
- イ 工事金額
 - ロ 材料
 - ハ 器工具
 - ニ フィルムの保管方法
- 11 建築窓ガラスフィルム工事前の窓ガラスの点検項目として、必要ない項目はどれか。
- イ 汚れ
 - ロ 損傷
 - ハ 製造時期
 - ニ 種類
- 12 建築窓ガラスフィルム工事に使用する器工具と用途の組合せとして、適切でないものはどれか。
- イ スプレー 洗浄液、施工液の噴霧
 - ロ 鋼製巻尺 フィルムの粗切り寸法の測定
 - ハ カッターナイフ フィルムの裁断
 - ニ スキージー ガラス面の強固な汚れの除去

[B 群(多肢択一法)]

- 13 建築窓ガラスフィルム工事に使用する器工具に関する記述として、適切なものはどれか。
- イ 施工液は、洗浄液よりも中性洗剤の濃度がやや濃いものを使用する。
 - ロ 清掃用に使用するスキージーは、プラスチック製よりもゴム製のものがよい。
 - ハ ペーパータオルは、スクレーパーの刃先を保護するのに使用する。
 - ニ 清掃用とフィルム貼り用のスキージーは、同じものを使用してもよい。
- 14 建築窓ガラスフィルムの保管に関する記述として、適切でないものはどれか。
- イ 室内であれば、直射日光が当たる所でもよい。
 - ロ 高温になる所には保管しない。
 - ハ 箱から出したフィルムは、床に直接置かない。
 - ニ 湿度の高い所には保管しない。
- 15 次のガラスの種類とフィルム貼り工法との組合せとして、適切でないものはどれか。
- イ 熱線反射ガラス・・・1枚貼り工法
 - ロ 熱線反射ガラス・・・突き付け貼り工法
 - ハ 強化ガラス・・・・・・重ね切り工法
 - ニ 強化ガラス・・・・・・突き付け貼り工法
- 16 建築窓ガラスフィルム工事における1枚貼り工法に関する記述として、適切でないものはどれか。
- イ フィルムを貼り付ける場合、施工液は、ガラス面とフィルムの粘着面に噴霧する。
 - ロ フィルムは、上下辺部を圧着してからフィルム全面を圧着する。
 - ハ フィルム貼り付け時に噴霧した施工液は、フィルム中心部から周縁部へ押し出す。
 - ニ ガラス周縁部に押し出された施工液は、ペーパータオルを巻き付けたスキージーで拭き取る。
- 17 文中の()内に当てはまる数値として、適切なものはどれか。
- 建物の熱線反射ガラスに1枚貼り工法でフィルムを貼る場合、フィルムの裁断寸法は、ガラスの見付け寸法よりも()mm程度小さくする。
- イ 1~2
 - ロ 3~4
 - ハ 6~8
 - ニ 9~12

[B 群(多肢択一法)]

- 18 建築窓ガラスフィルム工事後の養生に関する記述として、適切でないものはどれか。
- イ フィルム面には、粘着テープを貼ってはならない。
 - ロ 工事後は、空調を作動させるとよい。
 - ハ 水残りがあるときは、ドライヤーで乾燥する。
 - ニ ガラス飛散防止フィルムは、施工液が抜けるまで1週間から1か月を要することがある。
- 19 文中の()内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
- カーテンウォールのガラス回りにおいて、シーリング目地に使用するバックアップ材の役割の一つには、目地における()面接着の確保がある。
- イ 一
 - ロ 二
 - ハ 三
 - ニ 四
- 20 建築窓ガラスフィルムの改修工事に関する記述として、適切でないものはどれか。
- イ 洗浄液を噴霧して、ポリエチレンフィルムでカバーしておく、フィルムが剥がしやすくなる。
 - ロ フィルムの剥離作業を容易にするためには、フィルムを適当な大きさにカットして行うとよい。
 - ハ フィルムを剥がした後、粘着剤が残っている場合は、洗浄液を噴霧し、スクレーパーを用いて掻きとるとよい。
 - ニ フィルムを剥がした後、残った粘着剤は、溶剤を使用して除去するとよい。
- 21 板ガラスに関する記述として、適切でないものはどれか。
- イ 網入板ガラスは、ガラスの飛散防止や防火に優れている。
 - ロ 型板ガラスは、ガラスの片面に型模様を付けたものである。
 - ハ 熱線反射ガラスは、色調が多彩で、ミラー効果がある。
 - ニ 強化ガラスは、フロート板ガラスと同じ割れ方をする。
- 22 日本工業規格(JIS)のサッシによれば、サッシの性能項目とその記号の組合せとして、適切でないものはどれか。
- イ 耐風圧性・・・S
 - ロ 水密性・・・W
 - ハ 気密性・・・A
 - ニ 遮音性・・・H
- 23 日本工業規格(JIS)の建築製図通則によれば、下図の平面表示記号が表すものはどれか。
- イ 出入口一般
 - ロ シャッター
 - ハ 引違い戸
 - ニ 引違い窓



[B 群(多肢択一法)]

- 24 文中の()内に当てはまる数値として、正しいものはどれか。
建築基準法関係法令によれば、建築工事において建築工事現場の周囲に設ける仮囲いの高さは、地盤面から()m以上としなければならない。
- イ 1.2
 - ロ 1.5
 - ハ 1.8
 - ニ 2.0
- 25 ゴンドラを使用して作業する場合、作業開始前の点検項目に含まれないものはどれか。
- イ ワイヤロープの損傷及び腐食の状態
 - ロ 手すり等の取りはずし及び脱落の有無
 - ハ 巻過防止装置、ブレーキ及び制御装置の機能
 - ニ 昇降装置、配線及び配電盤の異常の有無

検定秘

平成 27 年度技能検定
ガラス用フィルム施工学科試験正解表

級別	2 級
----	-----

作業名	建築フィルム作業
-----	----------

A 群 (真偽法)	
問題番号	正 解
1	×
2	○
3	○
4	×
5	×
6	○
7	×
8	○
9	○
10	○
11	○
12	○
13	○
14	×
15	×
16	○
17	×
18	×
19	×
20	○
21	○
22	×
23	×
24	×
25	○

B 群 (多肢択一法)	
問題番号	正 解
1	ニ
2	ハ
3	ロ
4	イ
5	ロ
6	ロ
7	イ
8	ハ
9	ハ
10	ロ
11	ハ
12	ニ
13	ロ
14	イ
15	ハ
16	ロ
17	ロ
18	ハ
19	ロ
20	ニ
21	ニ
22	ニ
23	ハ
24	ハ
25	ニ